

# 令和2年病害虫発生予察指導情報

## 対象病害虫：ナシ黒星病

令和2年7月3日  
鳥取県病害虫防除所

表1 ナシ黒星病巡回調査結果（6月17、18、22、24日調査）

地区名		発病葉率 (%)		発病果率 (%)	
		本年	平年 <sup>1)</sup>	本年	平年 <sup>1)</sup>
東部	久末	0	1.2	0.7	0.2
	佐治町①	0	0.1	0	0.1
	佐治町②	0	0.1	0	0.2
	青谷町	1.6	— <sup>3)</sup>	0	— <sup>3)</sup>
	八頭町	1.7	1.4	— <sup>2)</sup>	0.3
中部	湯梨浜町	0	0	0	0
	悴谷	0	0.1	0	0
	関金町	11.4	2.5	24.0	1.1
	北栄町（園試）	0	0.2	0	0
	琴浦町	0	0.1	0	0
西部	大山町	0	2.1	5.3	0.2
	淀江町	0	0.6	— <sup>2)</sup>	— <sup>2)</sup>
	南部町	0.4	0	0	0
平均		1.2	0.7	2.7	0.2

注) 1) 調査地点により調査年数が異なるため、H22～R 元年の期間のうち2年以上（最大10年）の調査結果をもとに平年値を算出した。

2) 被袋済であり、調査が行えなかった。

3) 令和元年から調査園を変更。

- ・ 1 圃場当り 300 果、30 果そのの全葉を調査
- ・ 調査対象はすべて赤ナンである

**【概要】** ・ 果そう葉における平均発病葉率は1.2%（平年：0.7%）と平年並であった。

・ 果実における平均発病果率は2.7%（平年：0.2%）と平年に比べて高かった。

**【対策】** ・ 発病した葉及び果実は取り除き、園外で処分する。

・ 多発園では追加防除を検討する。

1) 今年度の防除において、DMI 剤\*（またはそれを成分に含む薬剤）の使用回数が2回以内の園

耐性菌対策のため保護殺菌剤\*\*と混用して、DMI 剤（アンビルフロアブル、スコア顆粒水和剤など）を散布する。

2) 今年度の防除において、同剤の使用回数が3回以上の園

保護殺菌剤のベルコートフロアブルや有機銅水和剤（キノンドーフロアブルまたはドキリンフロアブル）などを散布する。

\*例としてアクサーフロアブル、アンビルフロアブル、インダーフロアブル、オルフィンブラスフロアブル、オンリーワンフロアブル、スコア顆粒水和剤、マネージ DF 等がある。

\*\*2) を参照。